

社会科学習指導案

指導者 海田町立海田西中学校

教諭 中坊 浩之

- 1 日時 平成31年1月18日(金) 第3校時
- 2 学年 第3学年2組(男子14名 女子19名 33名)
- 3 場所 海田西中学校 3年2組教室
- 4 単元名 政府の役割と国民の福祉
- 5 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領〔公民的分野〕「2内容」の「(2) 私たちと経済」の「イ 国民の生活と政府の役割」に関するところであり、身近な社会資本や公共サービスについて、市場の働きに委ねることが難しい財やサービスを提供するという政府の経済的な役割について考えさせたりすることをねらいとしている。

また、財政や税金の役割、現在の日本の財政の課題に関心を持たせるとともに、急速に少子高齢社会が進行する中、社会保障と財政の在り方など、財源の確保と公平な配分の視点からも考察させる。そして近い将来、納税者として社会保障制度や年金制度、税制度の改革等直接関わってくる問題であることから、主体的にこの問題を考えさせていくが重要であると考え。税制度と社会サービスの在り方については、賛成と反対の両面があることから、対立と合意、公正などの視点から多面的・多角的に考察することができる単元である。

(2) 生徒観

基本用語など一問一答形式では発表できるが、グラフや資料を読み、それらを関連付けて分析し、文章で表現することや説明することに苦手意識を持つ生徒が多い。授業中の発言や指名に対する答え方も、必ず周囲の生徒に答を聞くなど多く見られ、自分に自信が持てないことも課題である。

(3) 指導観

本単元を指導するにあたり、税の仕組みのあらましと、日本の財政について学んだ基本的事項を活用し、日本の財政問題と社会保障制度を関連付け、将来納税者となる生徒が自らの問題として認識し関心を高め、主権者として積極的に政治に参加する態度を身につけさせたい。

また、生徒の課題であるデータを分析し、それらを関連付けて既習事項を使い説明していく能力を身につけるため、グループワークを活用し、意見を交流し発表する場面を設定した。

6 単元の目標

- 市場の働きに委ねることが難しい、財やサービスを提供する政府の経済的な役割と財政上の課題について理解し、将来の納税者として財政上の課題に関心を高める。

【社会的事象への関心・意欲・態度】

- 少子高齢化による財政上の課題とそれを解決するための財政の在り方について、さまざまな世代の立場で多面的・多角的に考察する。

【社会的な思考・判断・表現】

- 財政に関する統計資料を読み取り、財政上の課題をまとめ発表を通して考えを深める。

【資料活用の技能】

- 税制を理解し、公債残高の増加や少子高齢社会における、社会保障の在り方など、財政上の課題について理解する。

【社会的事象についての知識・理解】

7 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
<p>・政府の経済的な役割に関心を持ち、身近な生活から事例を探し、積極的に話し合いに参加している。</p>	<p>・税金の公平な負担について、政府や納税者の立場から多面的・多角的に考察し、公正に判断している。</p> <p>・社会保障の考えが生まれた歴史的背景と意義について、歴史的分野の学習内容をふまえて考察している。</p> <p>・少子高齢社会における財政の在り方について、身近な生活の事例や諸外国と比較し多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>・少子高齢化社会の進展と社会保障の現状について、グラフや統計資料を関連付け適切に読み取っている。</p>	<p>・財政と税制のあらましについて理解し、その知識を身につけている。</p> <p>・社会保障の基本的な考え方と、日本の社会保障制度のあらましについて理解し、その知識を身につけている。</p>

8 本単元において育成したい資質・能力

本校で育成したい資質・能力は、①知識・情報 ②主体性 ③課題発見・解決力 ④チャレンジ精神 ⑤自らへの自信の5つである。そのうち、本単元で重点的に指導したい資質・能力は次の3つである。

育成したい資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿
主体性	財政や税金の役割、社会保障制度について、主権者として関心を持ち、意欲的にその課題を追求している。
課題発見・解決力	日本の財政と社会保障制度の課題を見だし、その解決策を考えている。
自らへの自信	グループで意見を交流し、自らの考えをまとめ発表している。

9 単元の学習指導計画（全4時間）

次	時	学習内容	評価			
			関意	思判	資活	知理
一	1	<p>課題の設定</p> <p>1 私たちの生活と財政</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政とは ・さまざまな税金 ・税金の公平性 		◎		○
						<p>(・) 評価規準 (評価方法)</p> <p>(★) 資質・能力の評価 (評価方法)</p> <p>・統計資料をもとに国の歳入と歳出について調べ、財政について関心を持つ。(行動観察・発表)</p> <p>・税金の種類や仕組みについて理解し、税金の公平な負担について多面的・多角的に考え、発表できる。(ワークシート・発表)</p> <p>★資料・データから公平な税負担について考えようとしている。(ワークシート・発表)</p>

次	時	学習内容	評価			
			関 意	思 判	資 活	知 理
						(・) 評価規準 (評価方法) (★) 資質・能力の評価 (評価方法)
	2	情報の収集 2 政府の役割と財政の課題 ・市場経済と政府 ・財政政策 ・公債の発行 ・これからの財政				◎ ・政府が果たしている経済的な役割を理解している。 ・公債発行の実態と課題について話し合い、財政の在り方について考えることができる。(ワークシート, 発表)
	3	3 社会保障の仕組み ・社会保障のおこり ・日本の社会保障制度 ・社会保障の四つの柱				◎ ・社会保障の基本的な考え方と日本の社会保障制度についてわかる。 (ワークシート)
	4	整理・分析 4 少子高齢化と財政 ・少子高齢化と社会保障 ・社会保険の現在 ・福祉社会の実現に向けて		◎		・少子高齢化社会の進展と社会保障制度の在り方について、複数の統計資料を関連付けて読み取り現状や課題を考えることができる。 ・日本の社会保障と財政の在り方について、話し合い発表することができる。
	5	まとめ・創造・表現 4 少子高齢化と財政 日本の社会保障と財政の在り方を考えよう 振り返り この章の学習を確認しよう	○		◎	・社会保障の在り方について、資料を活用し、効率と公正の観点をふまえ、多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにしながら、主張する態度が見られる。 (ワークシート, 発表)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★「深い学び」を実現した生徒の具体</p> <p>これまで学習した知識や資料を活用し、意見を次のようにまとめることができる</p> <p>社会保障制度の課題は、<u>少子高齢化社会の進行</u>により、高齢者の<u>社会保障費の給付が増加</u>する一方、現役世代の減少によ</p> </div>						

10 本時の学習

(1) 本時の目標

税金の種類や仕組みについて理解し、税金の公平な負担について多面的・多角的に考え、発表できる。

(2) 観点別評価規準

◎ 思考・判断・表現

税金の公平な負担について、資料から分担方法を考え発表できる

(3) 準備物

・ワークシート ・プロジェクタ ・タブレット

(4) 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する状況」と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 (○) 教科の指導事項 (★) 資質・能力 (評価方法)
導入 10分	<p>1 財政の仕組み</p> <p>2 本時のねらいを確認する。</p>	<p>◇政府は、どこから収入を得て、どのようなことに支出してるか、政府の経済活動について理解する。</p> <p>◇「公平な税金の集め方を考えてみよう」税金の公平性を図るためにはどのような課税の方法がよいか考えてみよう</p>	
展開 35分	<p>3 さまざまな税金 税金の種類をまとめる</p> <p>4 税金の公平性</p>	<p style="text-align: center;">税金の公平な課税方法を考えることができる。</p> <p>◆活動の手順を黒板に提示し、作業がしやすいようにする。</p> <p>◇直接税と間接税のちがいを具体的な例を挙げて説明する</p> <p>◇直接税と間接税の税負担感の違いを考えさせる</p> <p>◇ワークシートをもとに、税金の公平性を図るためにはどのような課税方法がよいか「公正」の観点から考えさせる。</p> <p>◆「公正」の視点について、説明する。</p> <p>【話し合い】 ワークシートをもとにグループで話し合い意見をまとめ、グループごとに根拠を明らかにしながら説明する</p>	<p>○税金の種類や仕組みについて理解し、税金の公平な負担について多面的・多角的に考え、発表できる。(ワークシート・発表)</p> <p>★公平な税負担について、課税方法について自らの意見を考えている</p> <p>★資料・データから公平な税負担について公正の観点をふまえ、多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにしながら</p>

		◇これまで学習した知識や資料を活用させ、意見を次のようにまとめさせるよ 「協働」の場面での生徒の言葉 「私たちは、公平な課税方法を、市民6人について、「_____」のように考えました。その理由は、「_____」だからです。」	ら、主張する態度が見られる。 (ワークシート・発表)
	5 グループで、発表し意見交換する。	◇「公正」の視点をふまえて検討させる。	
	6 グループで一つ選び発表する。	◇公正の考え方には、さまざまな考えがあることに気づかせる	
まとめ 5分	7 本時のまとめと振り返り	◇どのグループの課税方法がもっとも説得力があったかを考えさせ、理由と合わせて振り返りをノートに書く。	

(5) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">【本時の目標】税金の公平な課税方法を考えることができる。</div>											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">1 課税方法を考える手順</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">2 発表</div>											
<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 33%; height: 40px;"></td><td style="width: 33%; height: 40px;"></td><td style="width: 33%; height: 40px;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%; height: 40px;"></td><td style="width: 33%; height: 40px;"></td><td style="width: 33%; height: 40px;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%; height: 40px;"></td><td style="width: 33%; height: 40px;"></td><td style="width: 33%; height: 40px;"></td></tr> </table>										<div style="border: 2px solid orange; width: 80%; margin: 0 auto; padding: 20px 0;"> <p style="font-size: 24px; color: orange;">スクリーン</p> </div>	